

6月1日(月) 6月補正予算記者会見 質疑応答要旨

(記者)

タブレット端末の件について、今年度中に配布ということですが、市内の小中学校に何台を、だいたい何月ぐらいに整備する予定としていますか。

(市長)

小学校が市内に13校ありまして、1～6年までで、2,531台を予定しています。中学校が5校あり、1～3年までで1,243台、約3,800台を予定しています。県で一括購入し、それから配布すると聞いております。予算は、国の補助と市の単独となります。

(記者)

市の負担は何割ぐらいでしょうか。

(市長)

市の負担は3分の1、国が3分の2です。

(記者)

新庁舎整備の事業完了予定時期は令和5年の秋で変更はありませんか。

(市長)

新型コロナウイルス感染症の影響で少し予定がずれていますが、最終的には令和5年の秋完了予定ということは変わっておりません。

(記者)

先ほどのタブレット端末の続きですが、全児童・生徒に家庭でも授業が受けられるようにするということですが、家庭でインターネット環境がない場合はどう想定されますか。

(市長)

まずは設備を整えて、学校でタブレット端末を使うことから始めてみて、そのあと、それぞれの家庭のインターネット環境を確認させていただこうと思っています。

(記者)

タブレット端末購入については、「新型コロナウイルス感染症対策」の中に盛り込まれているのではなく、位置づけとしては「将来に向けての重点施策」となっておりますが、基本的には、新型コロナウイルス感染症対策とは切り分けて考えているということでしょうか。

(市長)

新型コロナウイルス感染症対策全体の流れの中で、順番として考えさせていただきたいと思っています。今後、第二波、第三波が起こってそれに対応しないといけない可能性があるということも考えておりますので、まずは学校に端末を入れて、そのあとの施策につなげていきたいと考えています。

(記者)

家庭学習を今年度中にするかどうかはまだわからないということですか。

(市長)

できるだけ盛り込んだ中で考えているのですが、どれだけの家庭にインターネット環境があるのかというのがわかりませんので、家庭学習を実施するにあたって、事前に調べないといけな
いと思っています。

(記者)

全校生徒にタブレット購入をして、第二波、第三波発生時に臨時休校となったときには、家庭で使えるよう、借りられるようにするのですか。

(市長)

家庭でのオンライン学習の環境整備等に関する補助事業もありますので、それも活用しながら考えさせていただき、環境整

備を図っていきたいと思っています。

(記者)

市としても個人の家庭でのインターネット環境の整備に着手する可能性があるということですか。

(市長)

いろいろな方法があるかと思いますが、そこは、十分考えさせていただきたいと思っています。

(記者)

避難所の感染症緊急対策事業については、これから水害も予想される時期になると思いますが、具体的には何を購入する予定ですか。

(市長)

5月の補正予算では、マスクやパーテーション(間仕切り)などを整備しましたが、今回はあわせて、アルコール消毒液、非接

触式体温計、簡易ベッド、空間除菌脱臭機(※)等を整備していきたいと思っています。間仕切り等については、ご寄付をいただけるということもありましたので、それも利用させていただきま
す。特に、簡易ベッドの設置にはスペースがかなり必要となりますので、大きな体育館や公民館から配備していこうと考えています。

(記者)

設置にスペースが必要となると、一か所あたりに避難できる人数が減ると思いますので、市の避難計画と相違が出てくる
ことが考えられますが、どのようにお考えですか。

(市長)

県からも指導があり、市も対応を考えております。特に地震、南海トラフ巨大地震もそうですが、台風、風水害をまずは対応
させていただけたらと思っております。

(記者)

バスツアー誘致事業についてですが、対象はバス会社に対して1台5万円でしょうか。

(市長)

対象はツアー会社です。まだ移動が規制されていますが、今からはじめないといけないと考えています。

(記者)

7月からの「GO TO キャンペーン」までにとということですか。

(市長)

県外については、7月からの「Go To キャンペーン」に合わせてですが、それまでは県内の方への宿泊でさせていただけたらと思っています。

(記者)

宿泊費が1泊につき1万円のところだと5,000円になるのですか。元々宿泊費が5,000円のところは無料ですか。

(市長)

宿泊業者様にお話をさせていただいているのは、プラン造成をしていただき、例えば3,500～4,000円の素泊まりのところであれば、お近くの飲食店等と提携していただいて、例えば、6,000円とかでお食事もしながら宿泊もしていただけるというプランを作っていたらといった内容です。

基本的には、独自のプランを作ってくださいという考えです。

(記者)

対象期間は6月1日から7月末までですか。

(市長)

6月19日までは都道府県をまたぐ移動を自粛することとされていますが、それ以降は解除されますので、それまでの間に

予約を入れていただけたらありがたいという考え方のもとで、今日から7月31日までを事業期間として、スタートをさせていただきます。

(記者)

大阪、四国の他県は今日(6月1日)から解除になっていますが、その方たちの利用については、今回は対象外ですか。

(市長)

徳島県内の方だけを対象にしております。

(記者)

補助を受けるには、宿泊するときに身分証明書を提示するということでしょうか。

(市長)

予約をしていただく際に、ウェブサイト等で「証明できるものを提示してください」という連絡を差し上げております。

(記者)

補助するというのは、例えば、宿泊料が 6,000 円の場合、1,000 円支払えば泊まれるのですか。それとも、6,000 円支払って、あとから 5,000 円が返ってくるのですか。

(市長)

市からホテルに補助しますので、先ほどの例で申し上げますと、宿泊者は当日 1,000 円の支払いで宿泊できるプランを作っただけだと思います。

(記者)

これは専決ではなくて、今日から事業開始だということですが、予算が成立するのは、まだ先ではないでしょうか。

(市長)

元々、阿波踊りの予算がありましたが、今年度は中止にしておりますので、既決の予算を組み換えて対応させていただきます。

(記者)

今日から実施ということは、市内の旅館、ホテルに対しては、事前に通知しているのですか。

(市長)

連絡、説明はしております。今日からはじめたいと申し込みを受けておりますので、これから、それぞれのホテルのウェブサイト等でプランを発表していただけるのではないかと考えております。ぜひ、今日から実施すると周知していただければありがたいです。

(記者)

楽天トラベルとか大手のサイトではなくて、自社のホテルのウェブサイトでプランを掲示するのでしょうか。

(市長)

色々なホテルのウェブサイトで、1泊いくらとかメニュー・料金プランが載っていると思います。その中に「徳島県民限定の鳴

門で泊まろうキャンペーン」というように記載してくれるのではないかと想定しています。

(記者)

ホテルのサイトから申し込みができるということでしょうか。

今日から開始されているところはありますか。

(市長)

あると思います。

(記者)

インターネット販売支援事業についてですが、支援対象は、農協や漁協でしょうか。内容は、農産物や海産物について、インターネットを通じて販売するシステムの支援ということでしょうか。

(市長)

対象は、市内の農協 3 か所、漁協 8 か所になります。

内容については、インターネット販売の支援に加え、配送料も対象です。魚価があがらなくて困っていると聞いておりました、売り方を少し変えてみたいと漁協からも提案がありましたので、今回、「一緒にやってみませんか」という話になりました。

(※) 「空間除菌脱臭機」の整備については、人体への安全性等が確認でき次第、再度検討いたします。